



2020年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社ピアズ
 コード番号 7066 URL <https://peers.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑野 隆司
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 栗田 智代
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6811-2211

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	3,031		306		326		201	
2019年9月期第3四半期								

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 201百万円 (%) 2019年9月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	90.75	84.38
2019年9月期第3四半期		

(注) 2020年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,828	2,090	73.8
2019年9月期			

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 2,087百万円 2019年9月期 百万円

(注) 2020年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		0.00	0.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,680		340		373		259		116.63

(注) 2020年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注)特定子会社の異動に該当ませんが、株式会社OneColors、XERO株式会社、2Links株式会社を新規設立したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より子会社3社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年9月期3Q	2,246,400 株	2019年9月期	2,175,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年9月期3Q	0 株	2019年9月期	0 株
------------	-----	----------	-----

期中平均株式数(四半期累計)

2020年9月期3Q	2,222,771 株	2019年9月期3Q	1,977,099 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策を背景に、企業収益や雇用環境が改善するなど、緩やかな回復基調で推移しておりました。一方で、国内外で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響によって景況感は急激に悪化し、今後の経済活動停滞の長期化も懸念されるなど、先行きの不透明感が増しております。

通信業界においては、改正電気通信事業法の施行により、通信料金と端末代金の完全分離、期間拘束などの行き過ぎた囲い込みの是正、端末購入補助の適正化などが図られました。また、2020年春より次世代通信規格「5G」の商用サービス開始に伴い、今後さまざまな技術を活用したサービスの提供開始や、「5G」対応端末の需要が見込まれておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による人々の生活様式の一変が業界全体に及ぼす影響は予測出来ず、予断を許さない状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは「無意味な常識」に囚われず“意味のある非常識”を追求し、価値ある社会活動を行う」という企業理念をもとに、主要取引先である通信キャリアやキャリアショップ（通信キャリアのブランドを冠した販売店）を運営する販売代理店に対し、目まぐるしく変化する制度やサービスに柔軟に対応し、コンサルティング事業を中心に展開してまいりました。

主要なサービス提供先であるキャリアショップにおいては、スマートフォンを中心としたデバイス販売に付随する光回線などの商材の販売強化ニーズを満たすトータルの提案スキルが求められる中で、行政から契約時間の短縮に向けた要請もあるなど、店頭業務に対する改善の必要性が高まりました。

また、政府による「キャッシュレス・消費者還元事業」に伴い、国内消費におけるキャッシュレス化が普及する中、通信キャリアが提供するバーコード／QR決済サービス導入支援のニーズが高まりました。

一方で、新型コロナウイルス感染防止を目的にキャリアショップが営業時間の短縮や受付業務の一部縮小を実施したことで、コンサルティング機会の減少により業績に影響を与えました。なお、これらの状態は、緊急事態宣言の解除以降は緩やかに解消され、オンラインを利用した新たなコンサルティングサービスの導入により、業績は回復基調となっております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,031百万円、営業利益306百万円、経常利益326百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は201百万円となりました。

なお、当社グループはコンサルティング事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,632百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が2,217百万円、売掛金が247百万円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は196百万円となりました。主な内訳は、投資その他の資産が128百万円、無形固定資産が48百万円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は538百万円となりました。主な内訳は、短期借入金が200百万円、買掛金が112百万円、未払法人税等が52百万円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は200百万円となりました。内訳は、長期借入金が200百万円あります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,090百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金が1,256百万円、資本金が432百万円、資本準備金が397百万円あります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の通期業績は、主に通信業界におけるコンサルティング事業のうち、昨年秋頃から日本政府が推進する「キャッシュレス・消費者還元事業」に関連した支援事業の売上が第2四半期までは増加したことから、売上高は当初予想を上回る見込みです。しかし一方で、通信業界においても新型コロナウイルス感染症による拡大防止の取組みが実施されるなか、店舗向けコンサルティング及び、キャッシュレス推進事業の営業自粛の対策などにより、利益に影響を受けております。そのため、通期業績予想を修正することとしました。詳細については、本日付で公表いたしました「通期業績予想の修正及び通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

また、当社グループは、2020年9月期第3四半期より従来の単体決算から連結決算に移行しました。連結業績予想は、本日付「通期業績予想の修正及び通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想と同じ数値となっております。

また、本書提出日時点における新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は、オンラインでの営業を駆使することにより減少しておりますが、今後、当社グループの業績等に重要な影響を及ぼす変化が観測された場合には、適時開示にてお知らせいたします。

なお、当該業績予想につきましては、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間
(2020年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,217,304
売掛金	247,085
電子記録債権	117,950
その他	50,309
流動資産合計	2,632,649
固定資産	
有形固定資産	19,002
無形固定資産	48,218
投資その他の資産	128,953
固定資産合計	196,174
資産合計	2,828,824
負債の部	
流動負債	
買掛金	112,362
短期借入金	200,000
未払法人税等	52,817
賞与引当金	37,500
その他	135,409
流動負債合計	538,089
固定負債	
長期借入金	200,000
固定負債合計	200,000
負債合計	738,089
純資産の部	
株主資本	
資本金	432,983
資本剰余金	397,983
利益剰余金	1,256,074
株主資本合計	2,087,041
新株予約権	189
非支配株主持分	3,503
純資産合計	2,090,734
負債純資産合計	2,828,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,031,802
売上原価	2,321,502
売上総利益	710,299
販売費及び一般管理費	403,975
営業利益	306,324
営業外収益	
受取利息及び配当金	402
雇用調整助成金	27,440
その他	255
営業外収益合計	28,098
営業外費用	
貸倒引当金繰入額	6,170
支払利息	1,500
その他	94
営業外費用合計	7,765
経常利益	326,657
税引前四半期純利益	326,657
法人税、住民税及び事業税	131,344
法人税等調整額	△5,901
法人税等合計	125,443
四半期純利益	201,213
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△496
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,710

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	201,213
四半期包括利益	201,213
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	201,710
非支配株主に係る四半期包括利益	△496

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動に該当しませんが、株式会社OneColors、XERO株式会社、2Links株式会社を新規設立したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より子会社3社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループはコンサルティング事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報に係る記載を省略しております。